

F J / F 4 関係者 各位

日本F 4協会
会長 鈴木 修二
F J協会
会長 神谷誠二郎

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はF J及びF 4レースに対し、ご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、本年度のJ S Sスカラシップ（F JからF 4へのスカラシップ奨学制度）ドライバー松本武士（まつもと たけし）選手のF 4レース参戦のご報告をここにお送りします。

今後とも皆様のあたたかいご声援をお願い申し上げます。 敬具

J S S スカラシップドライバー	松本武士選手のF 4レース参戦報告
<p>J A F 地方選手権F 4西日本シリーズ第5戦</p> <p>大会名 鈴鹿ポッカ1 0 0 0km レース 期 日 2 0 0 8年 8月 23日 開催場所 鈴鹿サーキット 参加台数 2 3台</p>	

第5戦は鈴鹿1 0 0 0kmのサポート スタート直後に大雨が

F 4西日本シリーズ第5戦は鈴鹿サーキットのポッカ1 0 0 0kmのサポートイングリレースとして開催された。参加台数は2 3台と今年最多となったが、東日本シリーズからポイントリーダーの土屋選手と、松沢選手が参加、また初参加としてF C Jで活躍する金井選手などの参加もあって賑やかな内容となった。しかし、レースでは悪天候の中スタートが切られたが、強雨によりスピニングが続出、セーフティーカーが導入された。

練習走行

金曜の練習走行は晴れ、風は涼しく快適な練習日となった。各ドライバー最後の調整に余念がないが、そうした中、このところ好調調子の花岡、小林選手が好タイムを出しと皆の基準となっている。一方、遠征組の土屋選手も午後の練習では上記2名のタイムを上回り、新鋭の野尻選手に次いで2番手タイムを刻んでいる。J S Sスカラシップドライバーの松本選手は、今回も車が決まらずタイム的に苦しい状態が続いており、セッティングに精を出している。

公式予選 8月 23日

天候は昨日とは違って変わり朝から雨。予選は9時1 0分から2 0分間で行われた。コースオープンになると小林選手を先頭に2 3台のF 4マシン続々とコースインして行く。計測1周目、まず松本選手がトップタイムで、花岡、金井選手が続く。昨日までのドライコンディションではいまひとつタイムの出ない松本選手にとっては恵みの雨となるのか。その雨は徐々に小降りとなり、タイム争いは最終ラップまで続きそうだ。やがて、好調の花岡選手がトップに躍り出ると、松本、小林、金井、野尻選手の順だ。予選中盤、小林選手が一人2分2 6秒台に入りトップに浮上。一方、松本選手は前の車に追い付いた為

に一旦ペースダウンするが、その間に順位を6位まで落としている。

残り時間も無くなり、各車最後のアタックに入る。小林選手の後からコントロールラインを切った花岡選手が2.5秒台を叩き出しトップ躍り出る。2番手小林、3番に増田、4番は野尻選手で決まりと思われた中、それまでタイミングモニターの14位に無かった関東から遠征組の土屋選手が野尻選手を下し4番手に飛び込んで来た。そして、最後に目一杯のアタックを敢行していた松本選手が3番手に順位を上げて予選は終了となった。

予選結果

Pos	No.	Name	Model	Car Name / Team	Time
1	26	花岡 翔太	WEST006	プラスK アキランド イーグルスポーツ	2 25.712
2	11	小林 祐輔	WEST006	エーワン大井松田KL006	2 26.049
3	22	松本 武士	WEST056	JSS・nutec provile+giddy up056	2 26.869
4	31	増田 定臣	WEST056	Broval.JP 056	2 27.448
5	14	土屋 祐輔	WEST006	GOLDONクリア-ZAP SPEED 006	2 27.465
6	88	野尻 智紀	WEST006	オートボックス006サクシード	2 27.551

決勝レース

不安定な天気は雨が強くなったり弱まったりする中、スタート時間が迫ると幸いにも小降りとなった。しかし、フォーメーションが終わる頃には再び雨脚が強まってしまう。スタートでは、ポールスタートの花岡選手が好スタートを切りトップで1コーナーに、予選3番手の松本選手もスタートを決めて小林選手を抜いてに2位に浮上する。3位小林選手に続くのは増田選手だが、オープニングラップのうちに土屋選手が前に出る。1周目の通過は、花岡、松本、小林、土屋、増田選手の順。

雨は、ますます強くストレートで車が浮くほどになっていて、その後、あちこちでスピンが続出する。松本選手もストレートで車が横を向く、何とか立て直す、車をコントロールする間にスピードが落ちて小林選手が襲い掛かる、しかし、何とか抑え1コーナーには2位のまま進入する。しかし、S字3つ目の左コーナーで小林選手と共にスピンを喫してしまう。小林選手はスピンからすぐに立て直し、2位でレースに戻る。しかし松本選手は復帰に手間取り7番手に順位を落としてしまった。

花岡、小林選手に続いて土屋選手が3位に繰り上がるが、野尻、白坂選手が急接近しており3番手争いが激しくなると思われた。しかし、雨脚は強く、危険との判断で3周を終了した時点でセーフティーカーが導入された。

その後、天候の回復が見込まれず、セーフティーカー先導のまま、8周を終えたところで赤旗が提示され、F4レース初の、SCカー導入のままの形でレースを終了することになった。

決勝結果

Pos	No.	Name	Model	Car Name / Team	Lap	Time
1	26	花岡 翔太	WEST006	プラスK アキランド イーグルスポーツ	7	27 16.039
2	11	小林 祐輔	WEST006	エーワン大井松田KL東海伝送006	7	27 16.850
3	14	土屋 祐輔	WEST006	GOLDONクリア-ZAP SPEED 006	7	27 18.611
4	88	野尻 智紀	WEST006	オートボックス006サクシード	7	27 20.077
5	70	白坂 卓也	WEST006	TeamNaoki・波奈グループ006	7	27 20.773
6	31	増田 定臣	WEST956	Broval.JP 056	7	27 22.913
7	22	松本 武士	WEST056	JSS *nutec プロバイル	7	27 23.521

以上